

【2025年度 教育連携委員会 事業計画・自己評価・事業報告】

- 目的
 加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。
 さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

- 委員校
 (全：22校)
 委員長校：神戸大学、副委員長校：大手前大学
 委員校：大手前大学短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

| 課題及び期待される効果 | 取組 | 達成目標 | 活動指標 | 予算(千円) |
|--|---------------|-------------------|-----------------------------|--------|
| 課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応 単位互換事業では、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業、及び集中講義の導入により、学生に大学の枠を超えた学びの場を提供するとともに、コンソーシアム事業に対する学生の意識づけを促進。また、多様な学修機会の提供により加盟校間の相互連携と教育・研究の質向上、さらに異分野の学生交流による広い視野を持った人材育成が期待できる。 | 1. 単位互換事業の実施 | 各年開放科目数 10科目以上 | 参加学生数30名、 (送り出し校数5校以上)/年 | 565 |
| | 2. 多様な学修機会の提供 | 各年プログラム数 5件以上 | 参加者数50名以上/年 | 35 |

【2025年度 教育連携委員会（⑦取組1）】単位互換事業の実施

| 事業計画（4月記載） | | | 自己評価（12月記載） | | | 事業報告（3月記載） | | | | |
|---|----|----------|---|----|----|---|----|---------|----|--------|
| <p>加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に距離的・時間的制約により履修が困難とされてきた授業について、可能な範囲で教育のICT化の工夫を取り入れる。</p> <p>1. 2025年度単位互換事業の実施 地域や大学の強みを活かした特色ある科目や、フィールドワーク等の実践的な内容を「開放科目」として開講する。年間で開放科目数10科目以上、参加学生数30名以上、送り出し校数5校以上を活動指標として、事業の推進を図る。</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 包括協定未締結校に対して、継続的な働きかけを行い、協定校の拡充を目指す。協定数の増加を通じて、より多様な学びの機会を提供する体制の構築を図る。</p> <p>3. 広報活動の強化 本事業の認知度向上のため、ホームページ、ポスター、履修案内リーフレット、説明動画、デジタルサイネージ向け動画等の広報媒体を活用し、効果的な情報発信を行う。あわせて、2026年度の広報ポスター・チラシについては公募制を導入し、学生・教職員の参加意識を高めるとともに、事業への関心を促進する。</p> <p>4. 運営体制の改善に向けた検討 単位互換事業のさらなる充実と円滑な運営を図るため、現行の運営体制や実施方法についての改善策を検討するために、意見交換などを行う。</p> | | | <p><活動内容> 1. 2025年度単位互換事業 2025年度は19校165科目を開放科目として実施。 送り出し校 13校62名</p> <p>【ご参考】 開放科目数 2024年度 18校128科目 2023年度 17校 82科目 2022年度 15校 85科目</p> <p>送り出し校 2024年度 11校 61名 2023年度 6校 16名 2022年度 8校 42名</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、協定締結に向けた依頼を行った。 2025年度 協定書締結校：31校 （26大学、1専門職大学、4短期大学・部）</p> <p>3. 広報活動の強化、 広報面では、従来のホームページ・ポスターに加え、リーフレットや説明動画、デジタルサイネージ向け動画等を新たに活用し、情報発信を多角的に展開した。さらに、2026年度広報ポスターについては、学生を対象に公募制を導入した。結果、3作品の応募があり、第3回教育連携委員会において最優秀賞および優秀賞を審議の上、最優秀作品を2026年度単位互換事業の広報ポスターとして採用することを決定した。</p> <p>4. 運営体制の改善に向けた検討 第4回教育連携委員会にて、単位互換事業のさらなる充実と円滑な運営を図るため、現行の実施方法についての改善策を検討するために、意見収集を行う。</p> <p><自己評価> 2025年度は、単位互換事業において19校165科目を開放し、前年（18校128科目）からさらに拡充した。送り出し校は13校62名となり、参加校・履修者数ともに近年で最も高い水準を維持した。広報面では、事業内容の周知を多面的に実施し、学生・教職員の事業への関心醸成に向けて着実に当初の計画を実行している。学生が幅広い科目を履修し、学びの機会を拡充することを目的とする本事業は、引き続き継続することが望ましい。一方、学生生活に関する意識調査では、オンラインやオンデマンド形式の科目に対する受講意欲の高まりが確認されており、今後はこうしたニーズを踏まえ、授業形態の多様化や履修環境の充実に向けた検討が求められる。</p> | | | <p><活動内容> 1. 2025年度単位互換事業 2025年度は19校165科目を開放科目として実施。 送り出し校 13校62名</p> <p>【ご参考】 開放科目数 2024年度 18校128科目 2023年度 17校 82科目 2022年度 15校 85科目</p> <p>送り出し校 2024年度 11校 61名 2023年度 6校 16名 2022年度 8校 42名</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、協定締結に向けた依頼を行った。 （次年度の新規協定締結校はなし）</p> <p>3. 広報活動の強化、 従来のホームページ・ポスターに加え、リーフレットや説明動画、デジタルサイネージ向け動画等の新たな媒体も活用し、多角的な情報発信を行った。また、2026年度広報ポスターについては学生を対象に公募制を導入し、3作品の応募があった。第3回教育連携委員会において最優秀賞・優秀賞を審議の上、最優秀作品を2026年度単位互換事業の広報ポスターとして採用した。</p> <p>4. 運営体制の改善に向けた検討 第4回教育連携委員会において、単位互換事業のさらなる充実と円滑な運営を図るため、現行の実施方法に関する改善策を検討した。その結果、2027年度から運営マニュアルを一部改訂することを決定した。</p> <p><報告> 本取組は当初の予定通り、活動指標および、達成目標を達成した、開放科目数、受講者数共に昨年度から増加し、単位互換事業の充実が進んだ。あわせて、多様な広報媒体の活用や学生公募によるポスター制作など、新たな広報施策を展開した。また、円滑な事業運営に向けた改善策を検討し、2027年度から運営マニュアルを一部改訂することを決定した。今後も加盟校間の連携を一層強化し、より効果的な事業運営に努めていく。</p> | | | | |
| 達成目標に対する実績 【達成目標】各年開放科目数 10科目以上 | | | 開放科目数 165科目 | | | 開放科目数 165科目 | | | | |
| 活動指標に対する実績 【活動指標】 参加学生数30名、（送り出し校数5校以上）/年 | | | 13校62名 ※対面：46名／オンデマンド：16名 | | | 13校62名 ※対面：46名／オンデマンド：16名 | | | | |
| 自己評価基準：対到達目標※ | | | 4 | | | — | | | | |
| 自己評価基準：対継続性※ | | | 4 | | | — | | | | |
| 事業収支 | 収入 | 565,000円 | 支出 | 0円 | 収支 | 565,000円 | 支出 | 496,995 | 収支 | 68,005 |

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

単位互換制度を通じた学びの選択肢は、加盟校学生にとって引き続き有益な取組であるが、制度自体の認知度向上に向け、広報手法や情報提供のタイミング等について、引き続き検討のうえ実施いただきたい。また、オンライン科目やオンデマンド形式への学生ニーズが高まっていることを踏まえ、現状に即した履修環境の整備についても、引き続き委員会にて検討を進めていただきたい。

| | | | |
|---------------|--|--------------|--|
| ※自己評価基準：対到達目標 | 4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った | ※自己評価基準：対継続性 | 4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき |
|---------------|--|--------------|--|

【2025年度 教育連携委員会（⑦取組2）】多様な学修機会の提供

| 事業計画（4月記載） | | | 自己評価（12月記載） | | | 事業報告（3月記載） | | | | |
|--|----|---------|--|----|----|--|----|--------|----|-------|
| <p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2025年度においても加盟校の公開講座やセミナー等の多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。また、今年度より公開対象のセミナーを「協力：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸」と広報等のチラシに記載することとする。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。</p> | | | <p><活動内容> 1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 6校7件の公開講座等を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放し、多様な学修機会を提供した。開放校より報告のあった参加者数は計2,392名であった。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 本年度も大学eラーニング協議会より、共通基盤教育システムのeラーニングコンテンツの試行継続が認められ、加盟校におけるICTを活用できる教育環境を整備した。また、活用方法等については、教育連携委員会委員校以外の加盟校に対しても、毎年3月頃に開催される大学eラーニング協議会 合同フォーラム2025と併せて周知し、リメディアル教育を含むICTを活用した授業コンテンツ制作支援につながる活動を実施する予定。</p> <p><自己評価> 加盟校の公開講座等の開放については、コンソーシアム加盟校の学生・教職員に向けて広く周知を行い、2026年度は当初計画の達成目標（年間プログラム数5件以上）および活動指標（参加者数50人以上）を満たすことができた。本プログラムは、学生・教職員に対し、自学の正規講義や研修では触れる機会の少ない分野や専門領域の学びを提供する有益な取組であり、今後も継続して実施することが望ましい。</p> | | | <p><活動内容> 1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 9校29件の公開講座等を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放し、多様な学修機会を提供した。開放校より報告のあった参加者数は計4,123名であった。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 本年度も大学eラーニング協議会より、共通基盤教育システムのeラーニングコンテンツの試行継続が認められ、加盟校におけるICTを活用できる教育環境を整備した。また、教育連携委員会委員校以外の全加盟校に対して、大学eラーニング協議会の共通基盤システム（Solomon）のトライアル利用案内および、2026年3月開催の「UeLAフォーラム2025」について情報共有を行った。</p> <p><報告> 上記のとおり、2025年度は公開講座等の開放を通じた学修機会の提供を進めるとともに、ICTを活用した教育環境整備に取り組み、当初の達成目標および活動指標を達成した。</p> | | | | |
| 達成目標に対する実績 【達成目標】各年プログラム数5件以上 | | | 2025年度 7件 | | | 2025年度 29件 | | | | |
| 活動指標に対する実績 【活動指標】参加者数50名以上/年 | | | 参加者数 2,392名 | | | 参加者数 4,123名 | | | | |
| 自己評価基準：対到達目標※ | | | 4 | | | — | | | | |
| 自己評価基準：対継続性※ | | | 4 | | | — | | | | |
| 事業収支 | 収入 | 35,000円 | 支出 | 0円 | 収支 | 35,000円 | 支出 | 30,440 | 収支 | 4,560 |

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

加盟校間の公開講座の開放により、教育資源の共有と相互連携が進み、学修機会の提供体制は着実に構築されている。今後は、教育・研究面での交流促進や知の循環をさらに強化し、教育の質向上と学修成果の最大化につながる枠組みについて検討を進め、実施いただきたい。また、「大学eラーニング協議会基盤システム」等のICTを活用した学習支援についても、加盟校間での活用事例共有や周知を継続し、教育支援基盤の整備と質向上に期待したい。また、実態に即した活動指標についても、あわせてご検討いただきたい。

| | | | | | |
|---------------|--------------------------------|--------------------------|--------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| ※自己評価基準：対到達目標 | 4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った | 3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った | ※自己評価基準：対継続性 | 4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要 | 3：本プログラムは継続しても良い 1：本プログラムは中止すべき |
|---------------|--------------------------------|--------------------------|--------------|--------------------------------------|------------------------------------|

【2025年度 教育連携委員会 事業決算】

(単位：円)

| | 予算 | 決算 | 各プログラム 予算・決算 | | | | | | 委員会 予算・決算 | | | |
|----|---------|---------|--------------|----------------|---------|--------------|-------------|--------|-----------|---------|---------|---------|
| | | | ⑦取組1 | | | ⑦取組2 | | | | | | |
| | | | 単位互換事業 | | | 多様な学修機会の提供事業 | | | 内訳 | 予算額 | 決算額 | |
| | | | 内訳 | 予算額 | 決算額 | 内訳 | 予算額 | 決算額 | | | | |
| 収入 | 会費収入 | 700,000 | 700,000 | | 565,000 | 565,000 | | 35,000 | 35,000 | | 100,000 | 100,000 |
| | 助成事業収入 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 受託事業収入 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | プログラム収入 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 雑収入 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 戻入金 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 計 | 700,000 | 700,000 | | 565,000 | 565,000 | | 35,000 | 35,000 | | 100,000 | 100,000 |
| 支出 | 会議費 | 10,000 | 0 | | | | | | | 会議費 | 10,000 | |
| | 旅費交通費 | 10,000 | 1,520 | | | | | | | 旅費交通費 | 10,000 | 1,520 |
| | 通信運搬費 | 0 | 81,880 | 通信費・送料 | | 81,880 | | | | | | |
| | 消耗品費 | 10,000 | 11,773 | | | | | | | 消耗品費 | 10,000 | 11,773 |
| | 新聞図書費 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 印刷製本費 | 255,000 | 113,000 | ポスター・チラシ制作費 | 185,000 | 33,000 | | | | 資料印刷費 | 70,000 | 80,000 |
| | 光熱水料費 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 賃借料 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 保険料 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 謝金 | 80,000 | 80,000 | ポスター・チラシデザイン謝金 | 80,000 | 80,000 | | | | | | |
| | 租税公課 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 支払手数料 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 諸会費 | 1,000 | 2,915 | 振込手数料 | | 2,475 | 振込手数料 | 1,000 | 440 | | | |
| | 委託費 | 334,000 | 329,640 | 単位互換HP更新費 | 300,000 | 299,640 | eラーニング協議会会費 | 34,000 | 30,000 | | | |
| | 人件費 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 接待交際費 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 支払支援金 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | 雑費 | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| 計 | 700,000 | 620,728 | | 565,000 | 496,995 | | 35,000 | 30,440 | | 100,000 | 93,293 | |

| | |
|-------|--------|
| 収入－支出 | 79,272 |
|-------|--------|